

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

相馬共火2025第10号(発)
令和7年6月26日

福島県知事
内堀 雅雄 殿



提出者
住 所 福島県相馬市中村字塚ノ町65番地16
氏 名 相馬共同火力発電株式会社
取締役社長 内海 博
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0244-36-1200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	相馬共同火力発電株式会社 新地発電所		
事業場の所在地	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神1－1		
事業の種類	3311発電所		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙のとおり	全処理委託量	別紙のとおり
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり
※事務処理欄			

(第2面)

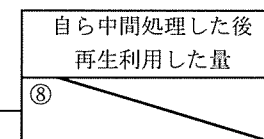
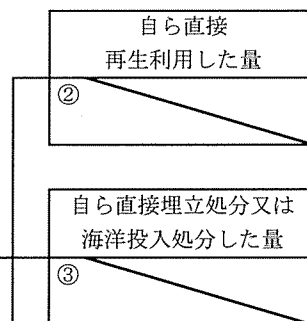
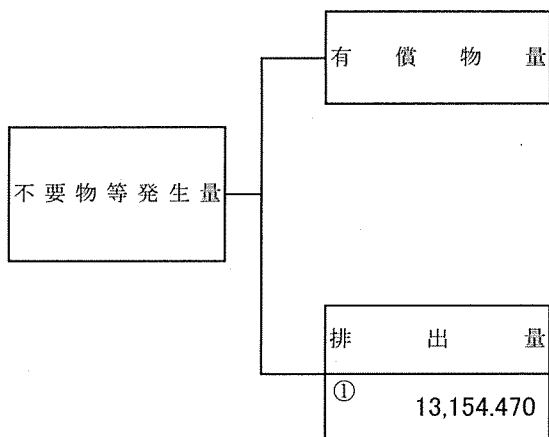
別紙により作成

備考

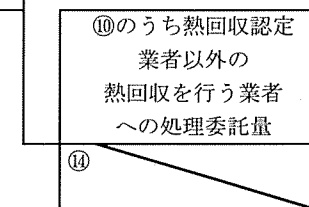
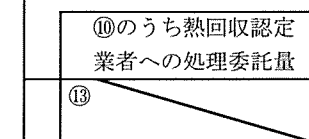
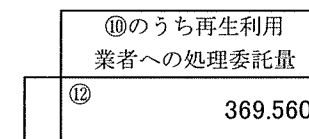
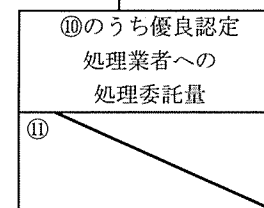
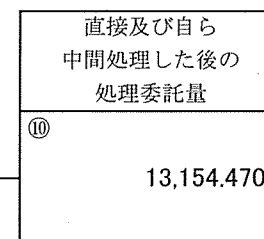
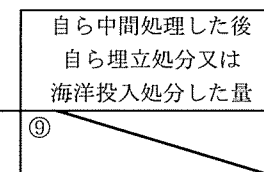
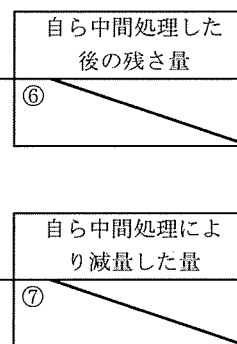
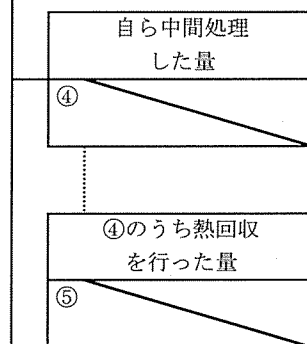
- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：燃え殻)

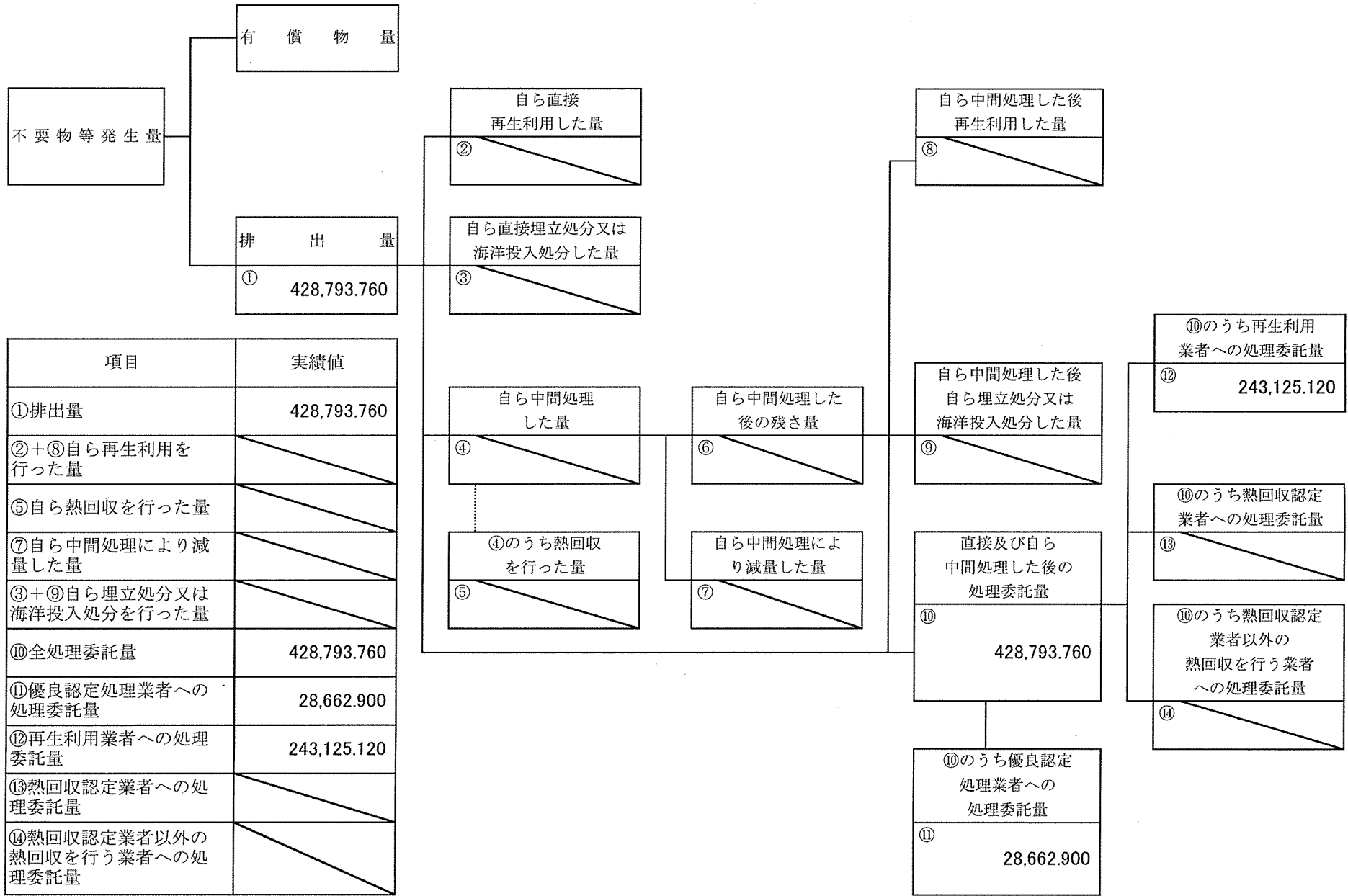


項目	実績値
①排出量	13,154.470
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	13,154.470
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	369.560
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



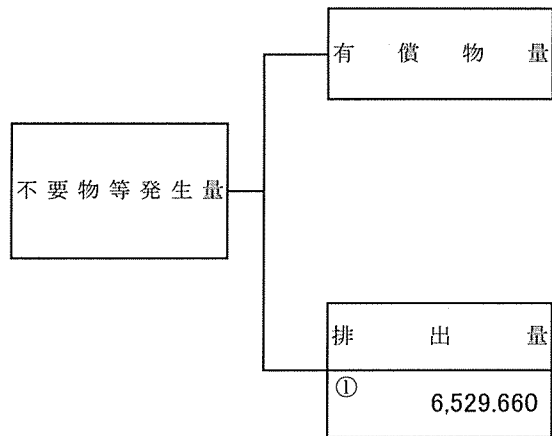
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ばいじん)

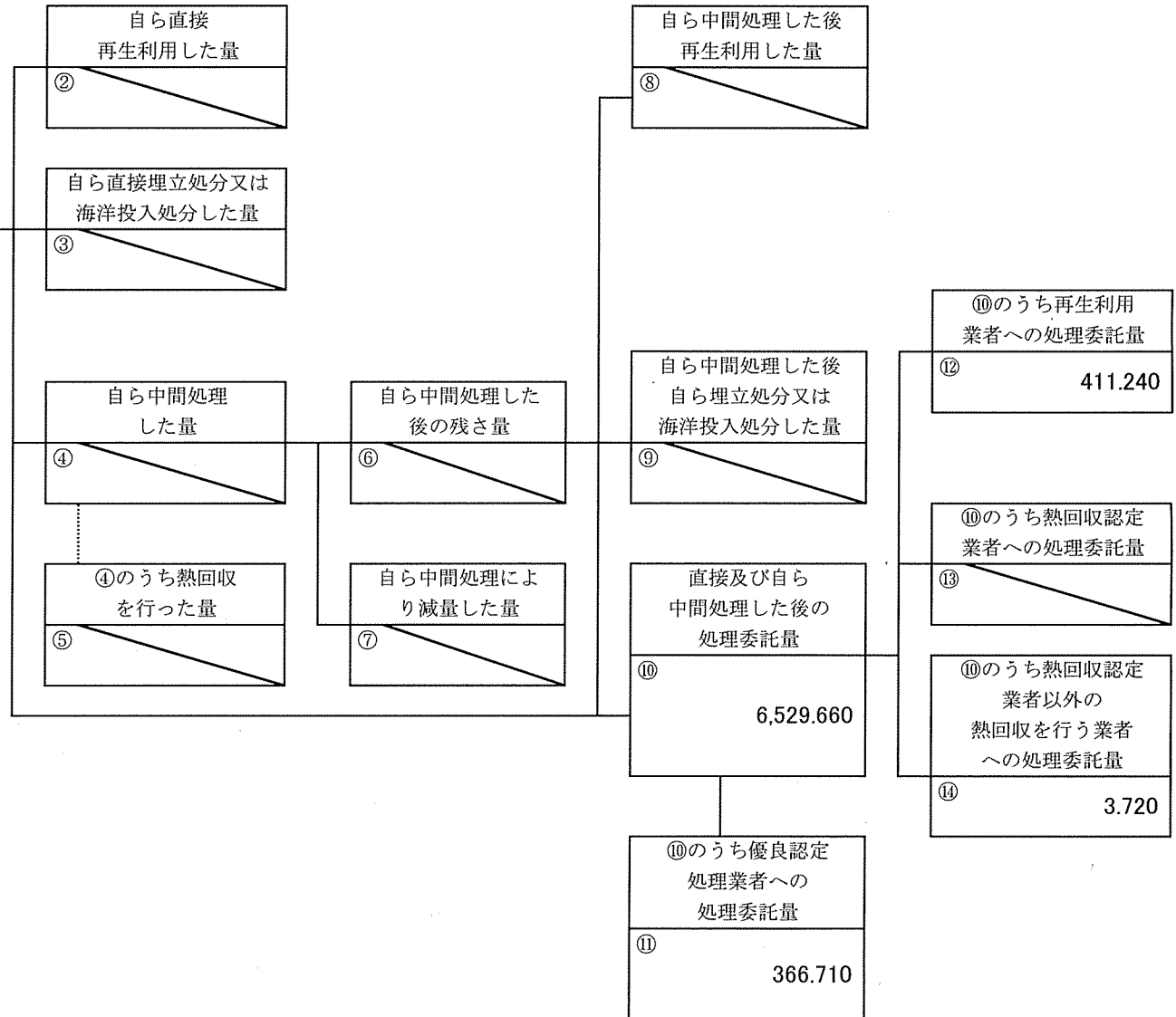


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

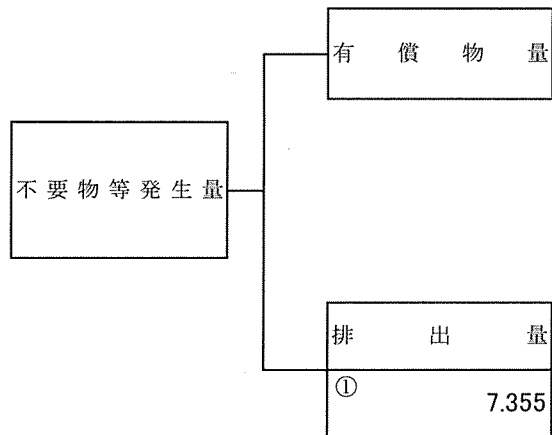


項目	実績値
①排出量	6529.660
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	6529.660
⑪優良認定処理業者への処理委託量	366.710
⑫再生利用業者への処理委託量	411.240
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.720

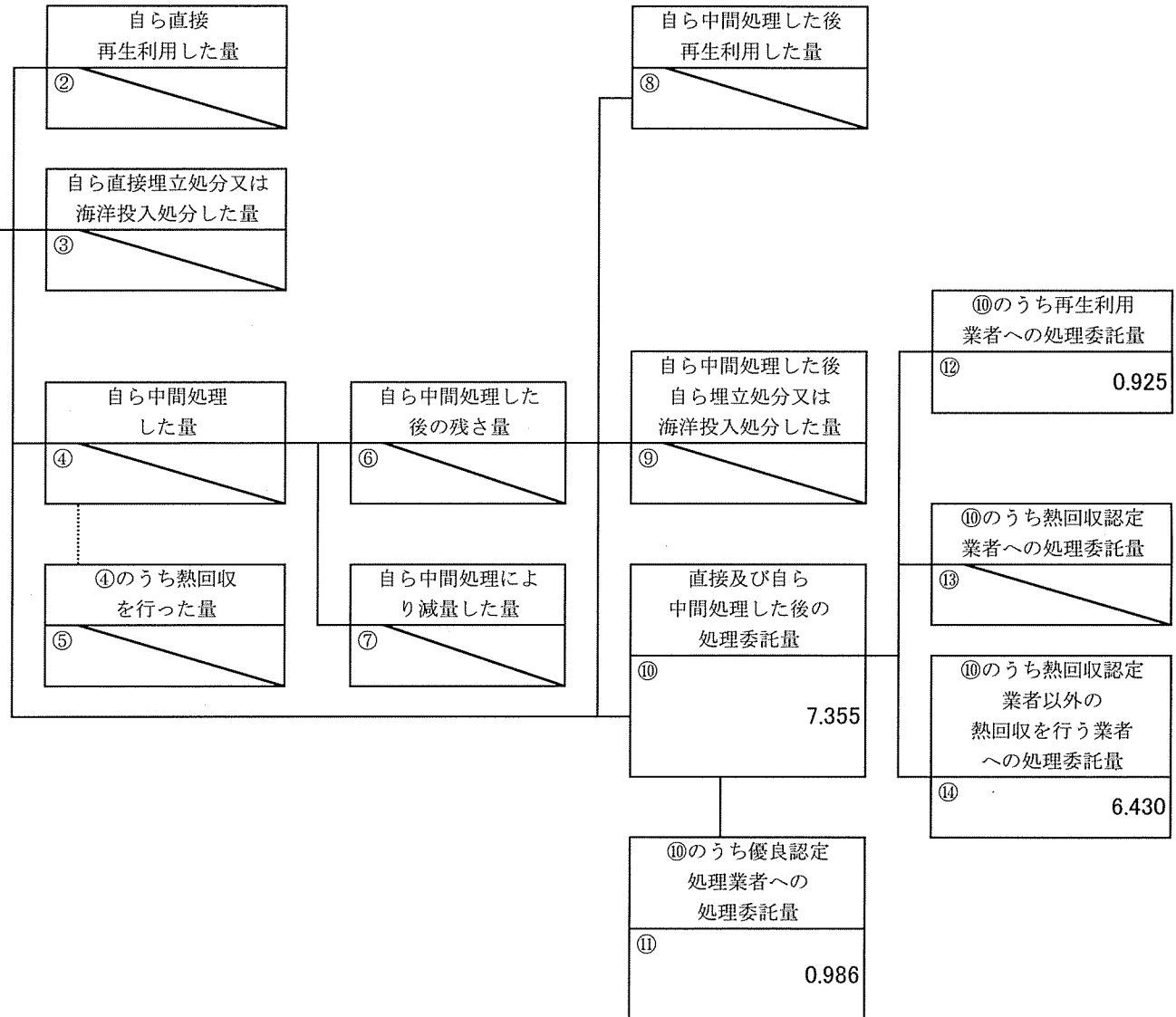


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

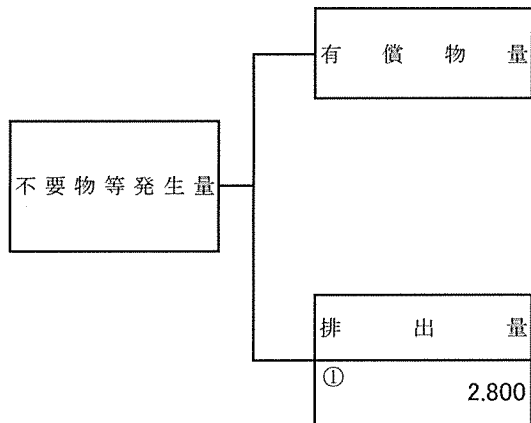


項目	実績値
①排出量	7.355
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	7.355
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.986
⑫再生利用業者への処理委託量	0.925
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6.430

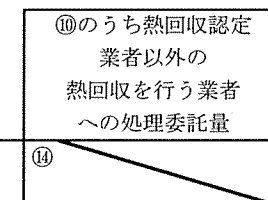
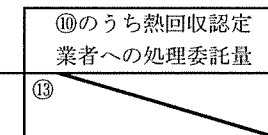
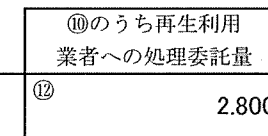
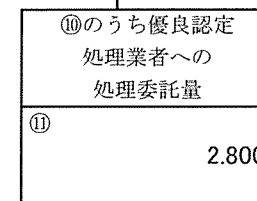
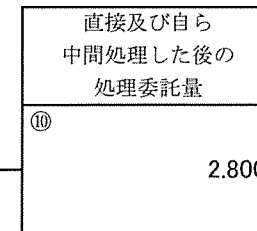
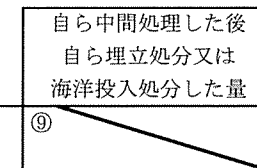
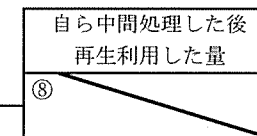
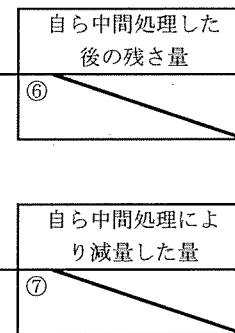
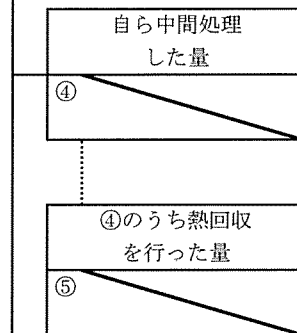
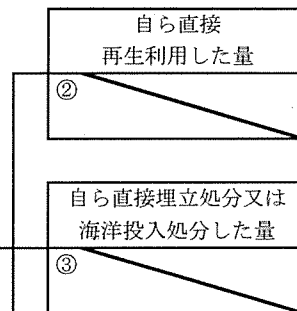


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



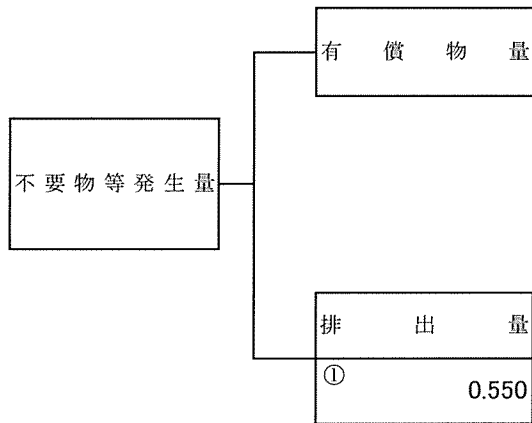
項目	実績値
①排出量	2.800
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	2.800
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.800
⑫再生利用業者への処理委託量	2.800
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	



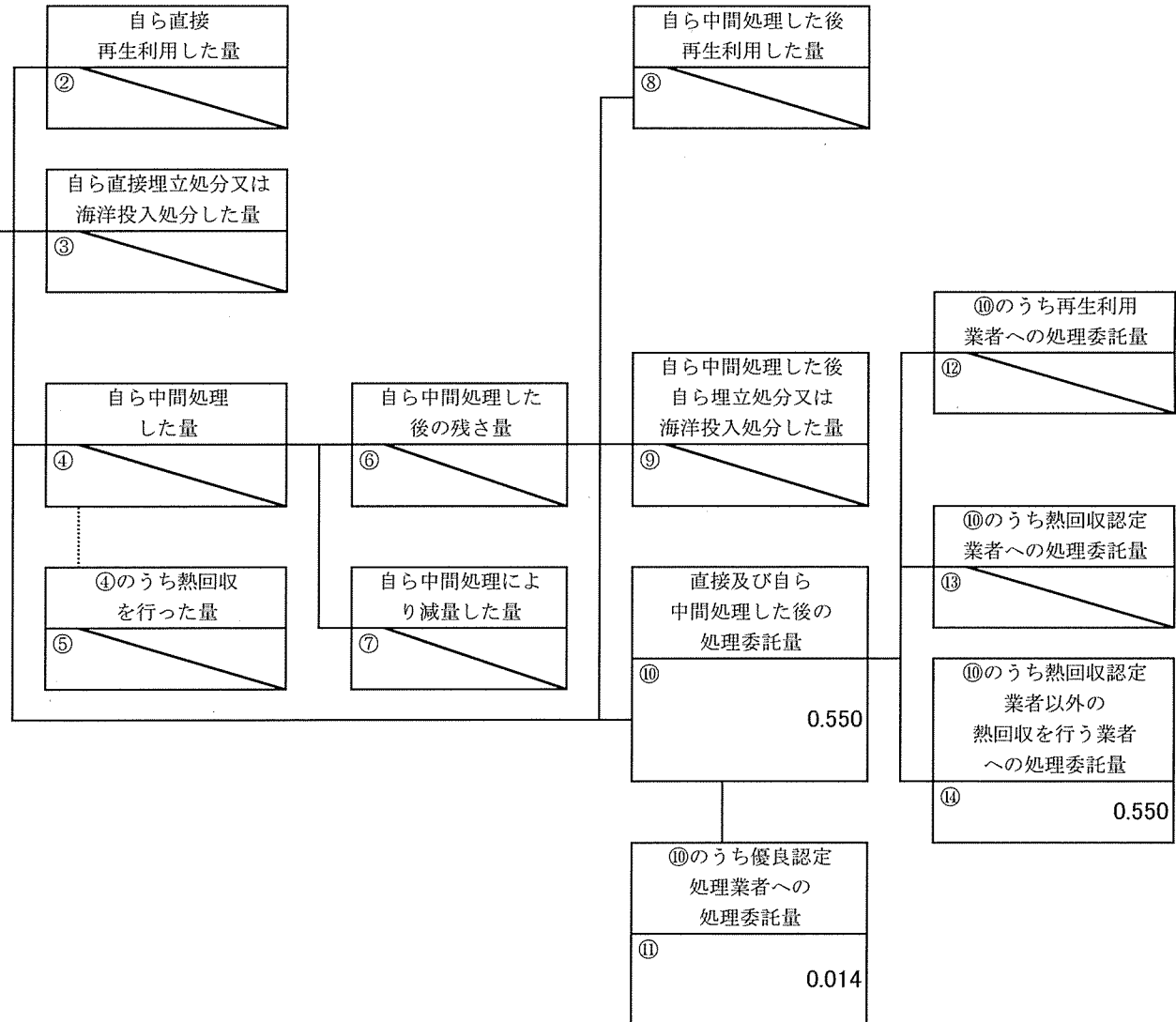
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

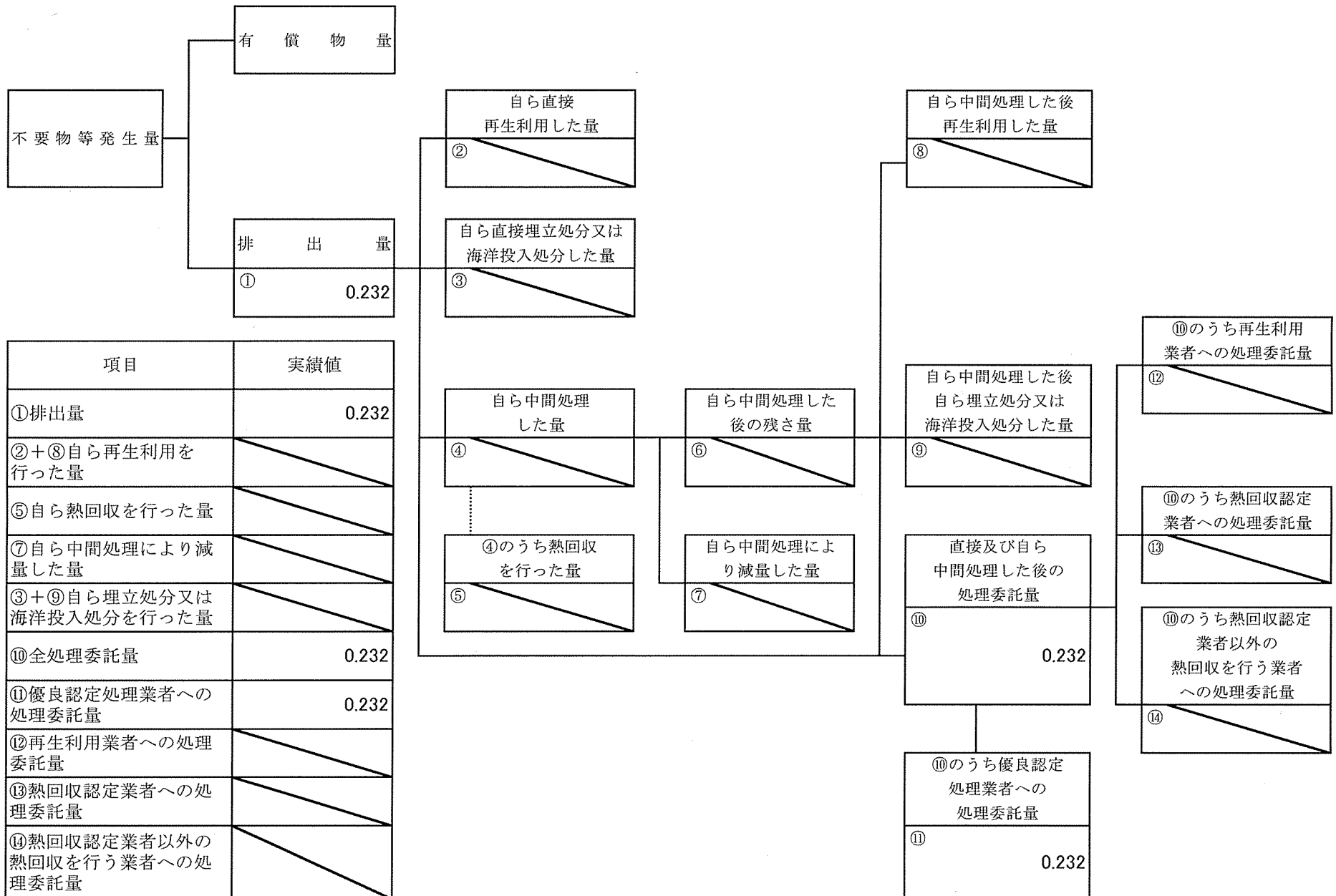


項目	実績値
①排出量	0.550
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.550
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.014
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.550



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器屑)



第1面 産業廃棄物処理計画における目標値

	燃え殻	ばいじん	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・陶磁器屑
排出量	32,548.80t	451,227.96t	7,105.76t	5.20t	2.00t	0.90t	0.50t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—
全処理委託量	32,548.80t	451,227.96t	7,105.76t	5.20t	2.00t	0.90t	0.50t
優良認定処理業者への処理委託量	—	22,750.00t	352.00t	—	2.00t	—	0.50t
再生利用業者への処理委託量	1,500.00t	367,260.00t	481.76t	—	2.00t	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	24.00t	5.20t	—	0.90t	—